

平成25年度 第1回理事会

日 時 平成25年4月25日(木) 15:30～

場 所 特別会議室

I. 議 題

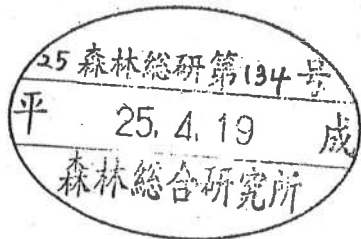
1. 監事監査計画について

II. 報 告

1. 平成25年度の研究コーディネータ等の業務分担と特命事項について
2. 平成25年度の森林総合研究所主要会議について
3. 中央労働委員会への調停申請について
4. 行政改革関係の動きについて
5. 独立行政法人監事サロンの概要報告について
6. その他

資 料

- I-1 監査計画書について
- II-1 平成25年度の研究コーディネータ等の業務分担と特命事項について
- II-2 平成25年度会議等の行事予定
- II-3 中央労働委員会への調停申請について(非公表)
- II-4 行政改革関係の動きについて(非公表)
- II-5 独立行政法人監事サロンの概要報告について
- II-6 主要行事(2013年3月28日～4月24日)



理 事 会 資 料
平成 25 年 4 月 25 日

平成 25 年 4 月 19 日

独立行政法人 森林総合研究所

理事長 鈴木 和夫 殿

独立行政法人 森林総合研究所

監 事 滑志田 隆

監 事 西田 篤實



監 査 計 画 書 に つ い て

監事監査規程第4条の規定に基づき、平成25年度の監査計画書を別添のとおり作成したので提出する。



平成 25 年度 監事監査計画書

監査方針：

1 監査の対象	1-1 中期目標の「地球温暖化の防止、水源の涵養、国土の保全、生物多様性の保全等の森林の機能発揮に向けた研究」に係る 2 重点研究課題「E. 森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発」「F. 気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発」及び「林木の新品種の開発と森林の生物機能の高度利用に向けた研究」に係る 1 重点課題「H. 高速育種等による林木の新品種の開発」の研究課題群、研究項目（プロジェクト課題）、実行課題の各責任者及び研究担当者
	1-2 森林総合研究所の内部統制に係わる責任者
	1-3 森林総合研究所の保有資産の管理・運営に係わる責任者
	1-4 森林総合研究所の契約事務に係わる業務の責任者
	1-5 森林総合研究所の研究協力に関する業務の責任者
	1-6 森林総合研究所の男女共同参画推進に係わる業務の責任者
2 監査の区分	業務監査
3 監査の事項	3-1-1 各重点課題における研究、目的、達成成果とアウトカム
	3-1-2 実行課題、研究項目（プロジェクト課題）研究課題群における連携、調整
	3-1-3 研究資源の投入状況
	3-1-4 上位段階課題へのアウトカムの収斂
	3-1-5 各課題責任者の研究管理
	3-2 森林総合研究所における内部統制の取り組み状況
	3-3 森林総合研究所における保有資産の管理状況

	3-4 森林総合研究所における随意契約等見直し計画の実施状況を含む入札・契約の実施状況及び情報開示の状況
	3-5 森林総合研究所における研究協力の状況（研究部門、林木育種部門）
	3-6 森林総合研究所における男女共同参画推進への取り組み状況
4 監査対象期間	平成 24 年度及び 25 年度
5 監査日程	平成 25 年 7 月～26 年 2 月
6 監査の方法	書面監査及び実地監査
7 監査対象事務所及び実施時期	つくば本所（各部門） 10 月～2 月 林木育種センター 10 月～2 月 森林バイオ研究センター 10 月～2 月 四国支所・四国増殖保存園 8 月又は 9 月 九州支所・九州育種場 7 月上旬 西表熱帯林育種技術園 8 月又は 9 月
8 その他	

平成 25 年度 監 事 監 査 計 画 書

1. 監査の対象	水源林造成事業、特定中山間保全整備事業、農用地総合整備事業及び既設道移管円滑化事業に関する関係部署																														
2. 監査の区分	業務監査及び会計監査																														
3. 監査の事項	3-1 関係法令及び諸規程等の実施状況 3-2 中期計画及び年度計画の取組状況 3-3 組織及び人事管理等の状況 3-4 予算、事業計画及び資金計画の執行状況 3-5 資産管理及び保有資産の見直し状況 3-6 財務諸表及び決算報告書等の内容 3-7 契約の締結及び執行状況並びに契約の適正化に向けた取組状況 3-8 コンプライアンスの取組状況 3-9 内部統制の状況及び情報管理(ソフトウェア管理含む) 3-10 労働安全衛生の状況 3-11 広報の取組状況																														
4. 監査対象期間	平成 24 年度及び 25 年度の一部																														
5. 監査日程	平成 25 年 6 月～26 年 1 月																														
6. 監査の方法	書面監査及び実地監査																														
7. 監査対象事務所及び実施時期	<table><tr><th colspan="2">対 象 事 務 所</th><th>実施時期</th></tr><tr><td rowspan="2">センター本部</td><td>各部門（会計監査）</td><td>6 月中旬</td></tr><tr><td>各部門（業務監査）</td><td>1 月中旬</td></tr><tr><td rowspan="8">整備局等</td><td>邑智西部建設事務所</td><td>10 月下旬</td></tr><tr><td>関東整備局</td><td>8 月下旬</td></tr><tr><td>福島水源林整備事務所</td><td>〃</td></tr><tr><td>近畿北陸整備局</td><td>11 月中旬</td></tr><tr><td>金沢水源林整備事務所</td><td>〃</td></tr><tr><td>中国四国整備局</td><td>7 月下旬</td></tr><tr><td>松山水源林整備事務所</td><td>〃</td></tr><tr><td>九州整備局</td><td>12 月上旬</td></tr><tr><td></td><td>宮崎水源林整備事務所</td><td>〃</td></tr></table>			対 象 事 務 所		実施時期	センター本部	各部門（会計監査）	6 月中旬	各部門（業務監査）	1 月中旬	整備局等	邑智西部建設事務所	10 月下旬	関東整備局	8 月下旬	福島水源林整備事務所	〃	近畿北陸整備局	11 月中旬	金沢水源林整備事務所	〃	中国四国整備局	7 月下旬	松山水源林整備事務所	〃	九州整備局	12 月上旬		宮崎水源林整備事務所	〃
対 象 事 務 所		実施時期																													
センター本部	各部門（会計監査）	6 月中旬																													
	各部門（業務監査）	1 月中旬																													
整備局等	邑智西部建設事務所	10 月下旬																													
	関東整備局	8 月下旬																													
	福島水源林整備事務所	〃																													
	近畿北陸整備局	11 月中旬																													
	金沢水源林整備事務所	〃																													
	中国四国整備局	7 月下旬																													
	松山水源林整備事務所	〃																													
	九州整備局	12 月上旬																													
	宮崎水源林整備事務所	〃																													
8. その他																															

平成25年度研究コーディネータの業務分担

平成25年4月1日現在

	氏名	担当重点課題等	特命事項
温暖化影響研究	松本光朗	E 森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	人材育成・男女共同参画
木質バイオマス利用研究	木口 実	D 新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	知財戦略
生物多様性・森林被害研究	小泉 透	G 森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	広報
国土保全・水資源研究	高橋正通	F 気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	環境報告
木質資源利用研究	井上明生	C 木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	産学官連携推進調整総括
林業生産技術研究	田中 浩	A 地域に対応した多様な森林管理技術の開発	地域研究(関東・中部対応)
生物機能研究	篠原健司	I 森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	総括、研究報告編集委員会責任者 育種調整
林業生産技術研究 国際研究	清野嘉之	B 国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの 開発	国際連携・協力

平成25年度研究コーディネータ(COD)の情報収集分担

氏名	担当行政機関
松本 光朗	経済産業省
木口 実	経済産業省
小泉 透	環境省
高橋 正通	国土交通省(河川局)
井上 明生	国土交通省(住宅局)
田中 浩	総務省
篠原 健司	文部科学省
清野 嘉之	外務省

各省のURLを検索し、関係諸情報を研究戦略会議等に報告する。

農林水産省及び内閣府(総合科学技術会議)は全員が対象。

平成25年度上席研究員の業務分担

平成25年4月1日現在

	氏名	補佐する重点課題等	特命事項
上席研究員	田淵 隆一	A 地域に対応した多様な森林管理技術の開発 B 国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	国際連携・協力補佐
上席研究員	三森 利昭	C 木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発 D 新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	研究の基盤となる情報の収集と整備の推進
上席研究員	松本 陽介	E 森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発 F 気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	広報素材
上席研究員	杉村 乾	G 森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発 I 森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	林業新技術2013

調査・研究・開発・普及	普及・指導	調査・研究・開発・普及
	普及	調査・研究・開発・普及

平成25年4月1日現在

平成25年度上席研究員の業務分担

平成25年度産学官連携推進調整監の特命事項

平成25年4月1日現在

	氏名	特命事項
産学官連携推進調整監	井上明生	産学官連携推進調整総括

平成25年度会議等の行事予定

作成日 2013/04/01

平成25年						平成26年					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	研究所会議				(ブロック会議)	公開講演会 オープンラボ (ブロック会議)	環境研究シンポ 研究評議会 研究所会議	庶務課長会議			研究所会議
1 月		1 土		1 月		1 日		1 日		1 水	1 土
2 火		2 木		2 火		2 月		2 月		2 木	2 日
3 水		3 金		3 水		3 火		3 火		3 金	3 月
4 木	U・S	4 土		4 木		4 水		4 水		4 土	4 火
5 金	R	5 日		5 金		5 木	U・S	5 木	U・S	5 日	5 水
6 土		6 月		6 土		6 金	R	6 金	R	6 月	6 木
7 日		7 火		7 日		7 土		7 土		7 火	7 金
8 月		8 水		8 月		8 木	U・S	8 金	R	8 日	8 土
9 火		9 木	U・S 研究推進本部会議	9 火		9 金	R	9 土		9 木	U・S
10 水		10 金	R	10 水		10 土		10 火		10 金	R
11 木		11 土		11 木	U・S	11 日		11 月		11 土	
12 金		12 日		12 金	R	12 月		12 火		12 日	
13 土		13 月		13 土		13 火		13 水	環境研究シンポ	13 金	
14 日		14 火		14 日		14 水		14 木	研究評議会/ 研究所会議	14 土	
15 月		15 水		15 月		15 木		15 金		15 日	
16 火		16 木		16 火		16 金		16 土		16 月	
17 水		17 金		17 水		17 土		17 火		17 金	
18 木		18 土		18 木		18 日		18 水		18 土	
19 金	一般 公開	19 日		19 金		19 月		19 火		19 木	U・S
20 土		20 月	研究所会議	20 土		20 火		20 水		20 金	R
21 日		21 火		21 日		21 水		21 木	U・S	21 土	
22 月		22 水	生物多様性シンポ	22 月		22 木	U・S	22 金	R	22 日	
23 火		23 木		23 火		23 金	R	23 土		23 月	
24 水		24 金		24 水		24 土		24 火		24 金	R
25 木	U・S	25 土		25 木	U・S	25 日		25 月		25 土	
26 金	R	26 日		26 金	R	26 月		26 火		26 木	
27 土		27 月		27 土		27 火		27 水		27 金	
28 日		28 火		28 日		28 水		28 木		28 土	
29 月		29 水		29 月		29 木		29 金		29 日	
30 火		30 木	U・S	30 火		30 金		30 土		30 月	
		31 金	R			31 水		31 火		31 金	

U 研究運営会議 ; S 研究戦略会議 ; R 連絡調整会議

平成25年4月25日
理事 会 資 料

1. 主 催： 有限責任監査法人トーマツ
2. 開催日： 平成25年4月12日
3. テーマ： 監事のための会計監査のポイント
 - (1) 監事の視点から見た財務諸表の見方等
 - (2) 平成24年度決算の留意事項
 - (3) 監事と会計監査人との有効な連携方法等

[illegible]


検討の視点

「独立行政法人の業務の実績に関する評価の視点（総務省 政策評価・独立行政法人評価委員会 平成21年3月30日 改正平成22年5月31日）」、「平成23年度業務実績評価の具体的取組について（平成24年5月21日）」を参考に作成

- ➡ 実物資産の保有の必要性、資産規模の適切性、有効活用の可能性等の観点からの見直し及びその結果の状況はどのようになっているか。見直しの結果、処分等又は有効活用を行うものとなった場合は、その取組状況や進捗状況等はどうなっているか。
- ➡ 職員宿舎について、「独立行政法人の職員宿舎の見直し計画（平成24年4月3日）」で示された方針を踏まえた見直しを行っているか。
- ➡ 政府方針を踏まえて処分等することとされた実物資産についての処分等の取組状況が明らかにされているか。その上で取組状況や進捗状況等はどうなっているか。
- ➡ 利用率が低調な施設等について、活用状況等が不十分な場合は、原因が明らかにされているか。その妥当性はどうか。

● 減損の兆候の把握のための確認表（例）の活用

資産コード	資産名称	取得年月日	耐用年数	取得価額	資産使用者	使用状況	備考



老朽化状況の確認



使用状況の確認

- 減損の確認表をどこまで網羅的に、正確に報告させるかという“仕組み”を機能させるか（廃棄支出の予算がかかるため、使用していない資産でもそのままの状況にある可能性が高い）
 - ⇒実施するからには形だけの実施という無駄な作業に終わらせず、資産の有効管理につなげる（法人内部での利活用の推進の徹底など）。
- 「使用状況欄」「備考欄」などを活用し、使用状況に関して可能な限り詳細なデータを把握するようにすることも有効ではないか（「使用状況欄」について○（使用見込み有）、×（使用見込み無）だけで終わらせない？）。

当期のトピックとして、平成24年度補正予算としてインフラ資産の維持・補修の強化等の観点から、施設整備費補助金が多額についている。しかしながら、平成24年度中に予算執行がほとんどできないことから繰越手続がなされているのが実情。

検討の視点

- ➔ これらについて適正に繰越手続が実施されているかを念のために確認。（予算措置された金額が網羅的に預り施設費に計上されているか。）。
- ➔ 平成24年度中に予算執行されたものは通常の独立行政法人会計基準に沿った会計処理（施設費収益、建設仮勘定見返施設費、資本剰余金への振替）がなされているか。
- ➔ 補正予算以外で措置された施設整備費補助金について、出納整理期間に精算交付されるものについては未収入金が計上されているか。
- ➔ 平成25年度における予算執行事務が適切に計画されているか。
- ➔ 多額に施設整備費補助金が予算措置されている場合、来年度以降の法人の財政状態に影響を及ぼす可能性があるため、何らかの開示（追加情報）の必要性が検討されているか。

【参考】事業年度中に行われた意思決定又は発生した一連の取引に係る事象について、決算日後、監査報告書日までの間に当該意思決定に基づく行為又は取引が終結していない状況が生ずることがある。このような場合は、決算日後に発生した事象ではないので、後発事象に該当しないが、重要な事象であれば追加情報として注記することが適切である。（監査・保証実務委員会実務指針第77号「追加情報の注記について」Ⅲ4（2）より）

（2）損益外減損損失累計額

「固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準（以下、「減損基準」という。）
第6 減損額の会計処理」

■ 平成23年6月改訂後の減損会計処理

区分		現行		改訂	
		減価償却費が 発生した場合	減価償却費が 発生しない場合	減価償却費が 発生した場合	減価償却費が 発生しない場合
固定資産	減価償却費	資本取引	資本取引	資本取引	資本取引
	減損損失	資本取引	損益取引	資本取引	損益取引
減価償却費	減価償却費	損益取引	損益取引	損益取引	損益取引
	減損損失	資本取引	損益取引	損益取引	損益取引

現行基準では、減価償却費は損益取引、減損額は資本取引となり勘別が生じていた

資本取引
損益外減価償却累計額又は損益外減損損失累計額に計上

損益取引
減価償却費又は減損損失として損益計算書に計上

主要行事(2013年3月28日～2013年4月24日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
3月28日(木)	第11回理事会	理事長、各理事、両監事
29日(金)	送所式	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
4月1日(月)	入所式	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長
5日(金)	庁議	理事長
9日(火)	(財)林学会理事会	理事長
10日(水) ～12日(金)	新規採用者研修	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
12日(金)	独立行政法人 監事サロン	滑志田監事
15日(月)	多摩森林科学園現地調査	理事長、研究担当理事
	森林・木材・環境アカデミー事務局会議	理事長
15日(月) ～17日(水)	新規採用者研修	森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、滑志田監事
16日(火)	関東森林管理局森林整備部長来所	理事長、研究担当理事
	第1回事業運営会議	理事長、企画・総務担当理事、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、滑志田監事
	農林水産技術会議研究開発官、林野庁研究指導課首席研究企画官等来所	林木育種センター所長
18日(木)	第1回育種運営会議	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長
20日(土)	桜を見る会	理事長
22日(月)	森林部門技術士会総会	企画・総務担当理事
23日(火)	森林総研友の会総会	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、両監事

※森林農地整備センター所長は森林業務担当理事が、また林木育種センター所長は育種事業・森林バイオ担当理事がそれぞれ担当している。